福井県社会福祉協議会
アクションレポート

令和５年３月 17 日　№9

社会福祉法人　福井県社会福祉協議会　総務企画課
〒910-8516　福井市光陽２丁目 3-22
TEL 0776-24-2339 ／ FAX 0776-24-8941 ／ E-mail　somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

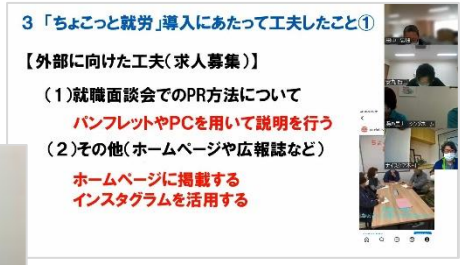
Contents

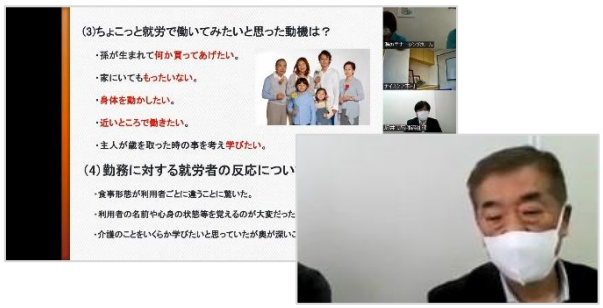
✔ 「ちょこっと就労」成果報告会を開催！
✔ コロナ禍の生活困窮者支援について考える
✔ ラジオ講座いきいきライフ「川柳コンテスト」優秀作品決定
✔ 学生の視点で福祉の魅力を発信「福幸チャレンジ 2022」

基本目標２
地域と福祉を支える
担い手づくり
関連するＳＤＧｓゴール

「ちょこっと就労」成果報告会を開催！

福井県福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、介護施設において無資格未経験でもできる補助的な仕事（食事の配膳下膳・掃除・洗濯等）を「ちょこっと就労」という県民に親しみやすい名称で推進し、介護職員の負担軽減を図っています。





オンラインによる施設からの報告発表の様子

「ちょこっと就労」のより一層の普及に向けて、３月 10 日（金）には、県内介護施設の採用担当者を対象に、本事業の成果報告会をオンライン開催しました。「ちょこっと就労」で多くの採用につながった介護施設の採用担当者より、採用に向けた取組みや就労者の現況などを報告発表いただきました。（参加 22 名）

本会センター・バンクでは、今後も各種事業を通じて、福祉の仕事の理解促進を図るとともに、福祉・介護・保育サービスを担う人材の発掘・確保に取り組んでいきます。

〔実績〕
R4　参加 48 法人, 85 施設, 就職者 52 名
R3　参加 38 法人, 65 施設, 就職者 41 名

コロナ禍の生活困窮者支援について考える

１月 31 日（火）、県産業会館において「丸ごと支え合う地域づくり推進セミナー」を開催しました。

コロナ禍の生活困窮は、休業や失業等からくる経済的困窮だけでなく、もともと生活のしづらさを抱えた方や世帯が、コロナ禍によりさらなる格差や分断が進み、そうした課題を一人で抱え込まざるを得ない「社会的孤立」という状況もあることから、複合的な課題を抱えた世帯を地域で丸ごと支え合う仕組みづくりを目的に、本セミナーを開催しました。

週末に降った雪の影響が残る中でしたが、市町行政や社協、地域包括支援センターや社会福祉施設の職員、民生委員児童委員など約 60 名が参加しました。

本会からのコロナ特例貸付の状況に関する基調説明の後、同志社大学社会学部社会福祉学科　空閑浩人教授からの講義の後は、グループに分かれ、３つの事例をもとに参加者が意見交換を行いました。

参加者は、あらためて支援者として、一人ひとりが大切にされる地域づくりに向けて、多くの気づきを得ることができました。

基本目標１
社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標２
地域と福祉を支える
担い手づくり

基本目標４
新たな課題に取り組む
組織・ネットワークづくり

５つのチャレンジ①
子どもの貧困・貧困の連鎖
をなくす取組み強化

５つのチャレンジ②
ひきこもり・8050 問題への
理解促進と支援の輪づくり

関連するＳＤＧｓゴール

空閑先生の講義の様子

グループでの事例検討

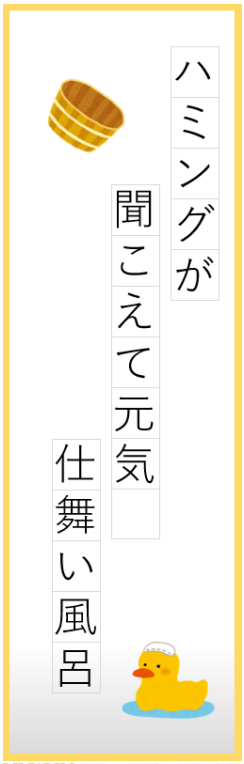
基本目標１
社会的孤立を生まない
地域づくり
関連するＳＤＧｓゴール

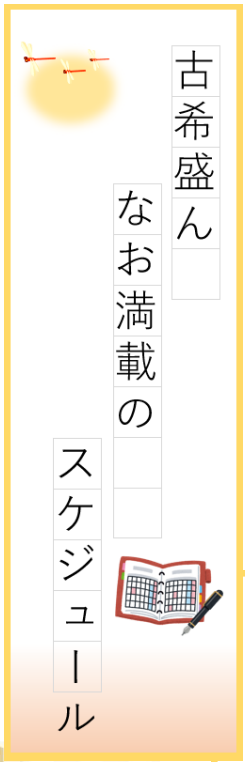
ラジオ講座いきいきライフ「川柳コンテスト」優秀作品決定

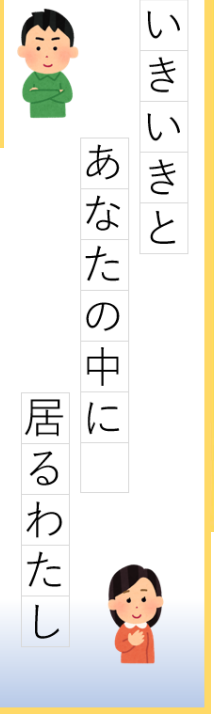
本会で実施しているラジオ講座は、令和４年度より、名称を「いきいきライフ」に変更し、学習内容・学習方法の拡充を図りました。

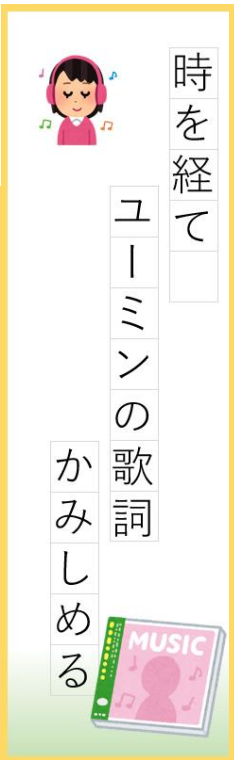
リニューアルしたラジオ講座を、より多くの方に周知し、受講を促す目的で、「いきいき」をテーマとした「川柳コンテスト」を実施し、113 名の方から 225 句の応募がありました。

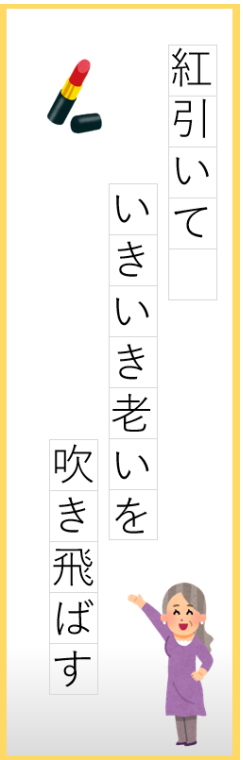
12 月に優秀作品の選考会を開催し、下記の５句が選ばれ、２月 19 日放送の「いきいきライフ」にて、優秀作品を発表しました。











学生の視点で福祉の魅力を発信！「福幸チャレンジ 2022」

基本目標４
新たな課題に取り組む
組織・ネットワークづくり
関連するＳＤＧｓゴール

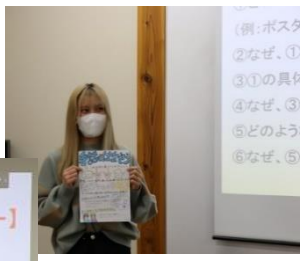
本会は今年度、福井県立大学と連携し、福祉施設・団体が行ってきたコロナ禍での取組み（チャレンジ）を広く紹介することで福祉の魅力を発信することを目的とし、「福幸チャレンジ 2022」に取り組んできました。

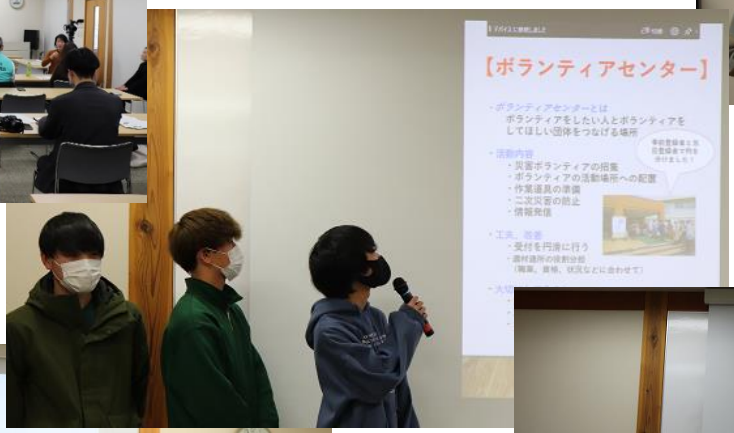
学生達が 10 月から１月までの約４ヶ月間、県内の各福祉現場を取材し広報素材を制作してきた成果報告会が、２月９日（木）、県立大学永平寺キャンパスで行われました。

このプロジェクトに取り組んだのは、県立大学看護福祉学部社会福祉学科 坂口昌宏准教授ゼミの２年生９名です。学生達は４つのグループに分かれ、障害者支援施設 希望園、あわら市の民生委員児童委員 岩本悦信氏、福井県ろうあ協会　濵田かおり氏、南越前町社会福祉協議会を取材し、魅力を届ける対象や効果的な広報媒体、内容等を自ら考えました。その成果は、インスタグラムでの動画配信、子ども食堂での紙芝居披露、ポスター、県内高校生へのチラシ配付、ホームページ用のスライドといった、それぞれのグループによって個性のにじみ出るものとなりました。

現在、本会ではプロジェクトでの学生の取組みを追いかけた動画を鋭意制作中で、今後 YouTube で配信します。福祉現場での取組みや、福祉を目指す若者の姿をぜひご覧ください！

成果報告会の様子





成果報告会を終え、晴れ晴れとした表情の県立大学生ら

←本会ホームページで
学生の作品を紹介
しています！